

消化管・肝胆膵原発の神経内分泌新生物の診療実態調査

研究対象：

2011年12月から2016年3月にまでに、国立がん研究センター中央病院を受診した消化管・肝胆膵原発の神経内分泌腫瘍の患者さんを対象としています。

研究の概要・意義：

わが国における膵神経内分泌腫瘍および消化管神経内分泌腫瘍の人口10万人あたりの新規発生者はそれぞれ1.3人、3.5人と推定されており、その発症頻度の低さから、神経内分泌腫瘍は希少がんの一つに位置づけられています。近年、欧米を中心にソマトスタチンアナログ製剤や分子標的薬を含む新規薬剤の開発が実施され、わが国でも新規薬剤が実地診療に導入されています。

わが国では「膵・消化管神経内分泌腫瘍ガイドライン」などのガイドラインが公表（2011年11月29日第一版発行）されていますが、神経内分泌腫瘍は希少がんゆえに、患者さんが適切な診断および治療を受けるための必要な知識と経験が日常診療に携わる医療者に浸透していない可能性があります。しかしながらこれまでにわが国における神経内分泌腫瘍の診療実態に関してこのような観点による検討は十分にされていませんでした。

本調査研究は希少がんである消化管・肝胆膵原発の神経内分泌腫瘍の患者さんの診療実態を明らかにすることを目的としています。

目的：

わが国における消化管・肝胆膵原発の神経内分泌腫瘍の患者さんの診断および治療における診療実績を明らかにすることです。

方法：

2011年12月から2016年3月までに、国立がん研究センター中央病院を受診した消化管・肝胆膵原発の神経内分泌腫瘍の患者さんを対象として、診療録に基づいて臨床情報(性別、年齢、生年月日、原発臓器、血液データ、病理組織学的所見、治療経過)を収集する形式で行われます。収集した臨床情報を用いて統計学的解析を行います。

個人情報保護に関する配慮：

「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」に従って、倫理面に十分な配慮を行って研究を進めます。診療録には個人情報が含まれているため、国立がん研究センター中央病院にある研究事務局が匿名化を行い、個人情報が特定されないように機密保護について厳重に配慮致します。本研究用に作成した番号などを用いて情報の管理および解析を行いますので、個人情報が院外に出ることはありません。患者さんやご家族からのご希望がございましたら、その患者さんの診療録を研究に利用しないように致しますので、以下の連絡先までご連絡をお願い致します。

問い合わせ、および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

森実 千種

国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL 03-3542-2511

FAX 03-3542-3815

E-mail: cmorizan@ncc.go.jp